





# HOW TO WORK

目の前の仕事が「自分ごと化」しているかどうかはいろいろなところに表れます。例えば、品質意識。上司や顧客に見えない部分であっても、ていねいに仕上げようとするこだわりがあるかどうか。あるいは、協働意識。自分の担当範囲外であっても、目配り・気配りがあるかどうか。もし、こうした自問に強くYESと答えられるなら、あなたは仕事を自分ごと化できているでしょう。NOであれば、仕事が他人ごと化している可能性大です。

プロ意識	<b>責任感</b>	雇われの身であろうがなかろうが、一個の職業人として、自分の業務に対して責任を負う。	自分は雇われの身であり、言われた業務を指示にそってやるのみ。責任は上司・経営者が負うべきもの。
	<b>誇り・矜持</b>	仕事に誇りを持つ。その道のプロとして自分自身にも誇りを持つ。誇りがあるから犠牲にできるものもある。	仕事に誇りはない。働き手としての自分自身にも誇りはない。仕事内容が楽しいにこしたことはないが、期待しない。
	<b>使命感</b>	仕事に使命感・意義を抱いている。そこから内発的動機を湧かせ、多少の苦難も乗り越えていけるという自信がある。	仕事に使命感はない。ただ（金を得るために）やらなければならないことをやっているだけ。
組織人意識	<b>代表意識</b>	自分の業務上の言動は、組織の言動を代表している。さらに組織の対外的イメージにも影響を与える。	自分の業務上の言動が組織の言動を代表している、あるいは組織の対外的イメージに影響を与えるという意識がない。
	<b>変革意識</b>	仕事を思うように成し遂げるためには、環境に対し受け身であってはならない。組織をうまく変え、活用する意識でないと。	一介の社員がドタバタしたところで組織や環境は変わらない。それより極カストレスを軽くして仕事を片づけるのが先決。
	<b>協働意識</b>	事業・仕事は自分の業務範囲だけでは完結しない。他人の範囲まで目配り・気配りするのが当然。	自分の業務範囲しかみない。他人の範囲まで気にしていたら仕事が増えるので嫌だ。

# 価値基盤の言語化

基盤として持つ価値を言葉にしてみよう

① 心に横たわる価値、大切にしたい価値を思いつくままに書き出す

## 【言語化のヒントワード】

- |                                      |  |                                       |                                       |
|--------------------------------------|--|---------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 困難に挑戦すること   | <input type="checkbox"/> 社会に貢献すること     | <input type="checkbox"/> 尊敬されること      | <input type="checkbox"/> 結果を出す        |
| <input type="checkbox"/> ユニークであること   | <input type="checkbox"/> 責任を果たす        | <input type="checkbox"/> 常に向上心を持つ     | <input type="checkbox"/> お客様の喜ぶ顔      |
| <input type="checkbox"/> 経済的規模の追求    | <input type="checkbox"/> 安定性を重視する      | <input type="checkbox"/> より早く・速く      | <input type="checkbox"/> 正確に・緻密に      |
| <input type="checkbox"/> 安全性の確保      | <input type="checkbox"/> 世の中にないものを生み出す | <input type="checkbox"/> ムダのないこと      | <input type="checkbox"/> 失敗をおそれない     |
| <input type="checkbox"/> 計画性を重視する    | <input type="checkbox"/> 美の追求          | <input type="checkbox"/> 目立つこと        | <input type="checkbox"/> 他者を信頼すること    |
| <input type="checkbox"/> より大きいこと     | <input type="checkbox"/> 先駆者になること      | <input type="checkbox"/> スローリズム       | <input type="checkbox"/> 秩序を守る        |
| <input type="checkbox"/> 他の真似をしない    | <input type="checkbox"/> 楽しくあること       | <input type="checkbox"/> 競争に勝つ        | <input type="checkbox"/> 世の中のトレンドをつくる |
| <input type="checkbox"/> 社会に希望を与える   | <input type="checkbox"/> 他者の意欲を刺激する    | <input type="checkbox"/> ハイリスク・ハイリターン | <input type="checkbox"/> 有名になる        |
| <input type="checkbox"/> 世界に出る       | <input type="checkbox"/> すべてに1番を目指す    | <input type="checkbox"/> アウトプット優先     | <input type="checkbox"/> 人の上に立つ       |
| <input type="checkbox"/> 共感・博愛       | <input type="checkbox"/> 生きた証を残す       | <input type="checkbox"/> アウトロー路線      | <input type="checkbox"/> 楽観に構える       |
| <input type="checkbox"/> 世の中をアツと驚かせる | <input type="checkbox"/> 古いものを伝承する     | <input type="checkbox"/> 自然と調和すること    |                                       |
| <input type="checkbox"/> 新規のスタイルをつくる | <input type="checkbox"/> 既存の枠を壊す       | <input type="checkbox"/> 弱者への支援・救済    |                                       |
| <input type="checkbox"/> 正しくあること     | <input type="checkbox"/> 創造的であること      | <input type="checkbox"/> 質実剛健         |                                       |



## HOW TO WORK

私が企業向けの研修で行っているのが、このワーク「価値基盤の言語化」です。まずは①に、価値の言葉をどんどん書き出します。自分が物事のどんな状態・性質に価値を認めているかは、次のような自問であぶり出されてきます。例えば「～することに喜びを感じる」「～であることに誇りを感じる」「～は外せない/こだわりたい」など。

次に、それら書き出した言葉の中から重要と思われるものを順に8個ほど②に清書します。それがおそらく価値基盤の中心にくるものです。この言語化がうまくできない人は、価値基盤の形成がまだ弱い人かもしれません。

② ①に書き出した価値のうち、重要度の順に8個（以内）清書する

1.

5.

2.

6.

3.

7.

4.

8.

### Hint

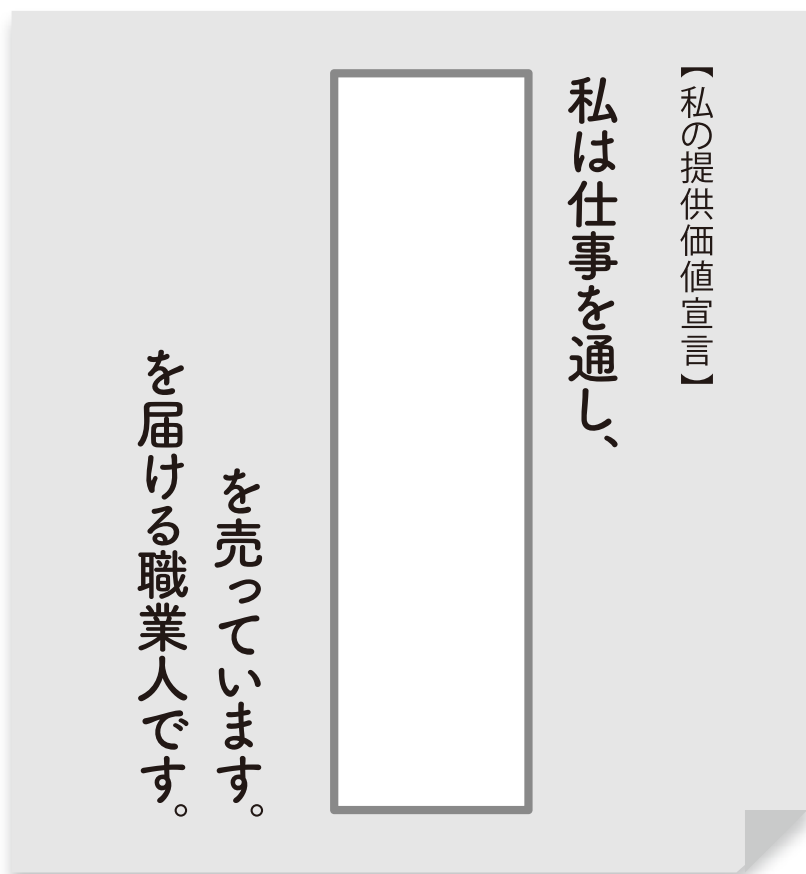
日々、働くうえで／生きていくうえで、

- ～することに喜びを感じる。
- ～であることが好きだ。
- ～であることに誇りを感じる。
- ～を最優先／大切に考える。
- ～であるべきだと思う。
- ～は外せない/こだわりたい。
- ～を信条・ポリシーにしている。
- ～であることに献身するのが本望だ

このような観点で考えると、あなたが心の基盤として持っている価値があぶり出されてくる。

# 理念軸を言葉にする

「何者でありたいか」によって自己を定義してみよう



## Hint

あなたは一職業人として世の中に（あるいは、お客様に）どんな価値を提供しているのでしょうか。それを簡潔な言葉で表現してください。

### 【 答案例 】

- 保険会社のライフプランナーは「経済的リスクを回避する安心」
- 自動車メーカーの開発者は「便利で快適な移動（モビリティ）空間／道具」
- レストランのシェフは「幸福な舌鼓の時間」
- 新薬の開発者は「その病気の無い社会」
- コンサルタントは「専門の知恵と手間ヒマの短縮」
- 財務担当者は「数値による企業の健康診断書」
- プロスポーツ選手は「筋書きのないドラマと感動」

……（という価値）を売っている / 届けている。



## HOW TO WORK

自分という能力存在を見つめ、「何者でありたいか」という観点から自己を定義するワークです。1つめのワークは「私の提供価値宣言」です。職業人としての私たちは、具体的な商品やサービスを売っていますが、もっと根本を考えると、その核にある「価値」を売っています。自分が何の価値を世の中に届ける存在であるのかを考え、言葉にすることで、「ああ、自分はこういうことを根本の軸に据えていく職業人なのだ」という自覚ができます。

2つめのワーク「私の『ほんとうの自分』宣言」は、一人間として、丸ごとの自分を使って何を成していきたいのかを問うものです。人生100年という時間的視野に立ったとき、このような自己定義宣言が明快にでき、そのもとに職業や就労形態、知識・能力を手段として活用できる人が、健やかな仕事人生を勝ち取っていける人といえるでしょう。

【私の「ほんとうの自分」宣言】

私はこの生涯において、

として生きる。  
として記憶されたい。  
を遺したい。

### Hint

あなたはこの生涯において、どんな存在として生きていきたいのでしょうか。あるいは一人間として、どう記憶され、何を遺したいのでしょうか。それを簡潔な言葉で表現してください。

【答案例】 私（著者：村山）の場合

- 私は「概念の作家」として生きる。
- 私は「働くとは何かの名翻訳家」として記憶されたい。
- 私は「100年後の人と心の対話ができる本」（＝100年読まれ続ける著作）を遺したい。